

令和6年3月22日

足立区立中島根小学校
学校長 細川 靖雄 様

足立区立中島根小学校
開かれた学校づくり協議会
会 長 米重 哲彦

令和5年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

本校が地域、協議会、PTAとの連携を図り、教職員が協力して学校運営に取り組むことで、児童が充実した学校生活を送れていることに深く感謝いたします。協議会としても、子ども達が明るく素直で元気があり、全体的に授業や学校行事に前向きに取り組んでいると認識しています。

初任者として赴任した教員が1名、代替教員が5名在職し、全体的にも若い先生が多く、若い力で協力して行事や児童指導に対して取り組み、「チーム中島根」の力をいろいろな場面で感じられました。

学校評価アンケートの集計結果からもほとんどの項目で保護者からの評価がよく、様々な取り組みの効果が表れていると思われまます。今後も、子ども達の指導や学校の活動に組織全体で取り組む姿勢と問題意識をもち、課題解決能力の向上に努めてください。協議会や地域との連携、先生方の学校運営に対する努力が、子ども達の元気で楽しい、そして安全で安心できる学校生活を支えていると考えます。また、今年度は創立50周年を迎え、様々なことを学校行事で取り上げ、さらに地域との連携もあって滞りなく式典が終えたことに感謝をしたいと思います。そして、三校連携事業においても、学校の協力で大山教育長様を招聘して、研修会を無事に終えることができましたことも感謝します。

さて、学力についてですが、区の協力もあって学力低下から教職員が協力して本校の児童の学力について分析を行い、徐々に学力の向上が伺えました。今後も状況の把握と的確な指導をしていただきたいと思います。また、全校の取組として、「全校あいさつ運動」や「休み時間の外遊び」などを実施し、基本的な生活習慣の確立に成果を上げていると評価しています。そして、環境教育について「グリーンカーテン」「芝生」「ビオトープ」「フラワーロード」などの資源を生かし積極的に取り組み、協議会としてもPTAなどとも協力して持続可能な取り組みに協力をしていきたいと思ひます。

2. 重点的な取り組み事項について

◎ 学力の向上

学力向上にむけて、一人一人の分析を行い、学習状況を把握したうえで、個別に指導を行

い基礎的、基本的な学力向上を図っていると思います。区の協力もあり、先生一人一人の授業力を高めるとともに、傾向を分析し、子ども達個々の学習状況にあった指導を行う取り組みは、継続して実施することで大きな成果を挙げるものと考えます。あわせて、学校の考え方を保護者の皆さんにご理解いただき、家庭での学習や生活習慣の改善に取り組んでいただくことも、今後の大きな鍵になると考えます。来年度も若い先生方が赴任してくるようですが、家庭と学校とで連携を図っていくようお願いいたします。何よりも、子ども達が自信をもって学べる事が大切ですので、これからもきめ細かい指導を行うとともに、子ども達自らの取組を学校、家庭、地域で評価し認めてあげられる状況を協力して作り出すことが大切だと考えます。今後も目標を明確にし、保護者の理解を得て粘り強く取り組んでいただきたいと考えています。

○基礎・基本の定着と活用する力の伸長

4月の区学力調査の算数や国語については達成基準を下回りましたが、今後の継続した努力を期待します。

○パワーアップタイムの充実

基礎的・基本的な学習内容の定着に関しては、取組内容を工夫し継続して実施し、成果を挙げていると考えます。子ども達にとって基礎基本を理解し、次のステップに向かうことは、学習意欲を継続していくうえで大変重要です。先生方が協力して子ども達の力となれるよう努力をお願いします。

○学力調査による定着度の分析

学力調査は結果を受けて、子ども達の理解度や個別の課題を発見し対策に取り組むことは非常に大切な取り組みです。SP表をもとに学級ごとの分析や個人別の課題の把握に取り組んでもらいたいと考えます。

○個に応じた指導を中心とした補習教室

引き続き、補習教室や長期休業中の補習教室の実施など様々な方法で個別の指導が行われていることを評価します。学校評価アンケートでは、87%の保護者が「お子さんの学校生活は、全体として満足できるものである。」、90%の保護者が「お子さんは、学校の授業を通して、分かることやできることが増えている」と感じているという結果でした。

学力の定着には学校と児童本人の努力も大切ですが、家庭での保護者の役割も重要です。来年度以降も、課題の分析と指導の在り方を研究して、学校だけでなく、保護者、地域も巻き込んで学力の向上に取り組んでください。

○読書習慣の定着

今年度も読み聞かせや読書旬間の年2回実施、読書目標の設定など子ども達が本に親しむ取り組みを積極的に展開したことを評価します。さらなる読書週間を身に付けられるにお願いをしたい。読む力（読解力）を育むことは、子ども達の将来にとって極めて大切なことであり、今後も計画的に読書習慣の確立に努めてください。

◎ 健全な心身づくり

体力状況調査や日ごろのあいさつ活動、児童の意識調査等の結果からは全体的に概ね良好な結果がでており、日常の中で取り組んだ体力づくりや学校でのあいさつ活動が成果を挙げ

ていると評価します。また、「不登校」や「登校困難」といった個々の課題に対しても地域と協力してしっかり取り組んでいると評価しています。引き続き細やかな対応をお願いします。

○基本的な生活習慣の確立

学年が上がることに、早寝、早起き、朝ごはんの意識が下降する傾向は何年もの課題になっており、有効な取り組みを構築することが求められています。生活習慣の確立は、学校だけでなく、本来は家庭が中心となって取り組むべき課題です。その意味で保護者への啓発活動が大変重要であり、協議会を含めた地域の協力も不可欠と考えます。協議会としても引き続き、「あいさつ」や「食育」も含めて、「早寝早起き朝ごはん」など基本的な生活習慣を子ども達が身に付けられるよう協力していきたいと考えています。

○体力向上

長縄チャレンジ、短縄カード・持久走カードの活用などの取り組みが子ども達に定着してきていることを評価します。

ゲームやテレビの時間が増え、子ども達の運動量の低下が心配されています。

体力向上は一朝一夕に結果が出るものではなく、息の長い取り組みが大切と考えます。これからもスポーツ推進委員の指導や地域の協力も得て、子ども達が楽しく自発的に運動に取り組めるよう、様々な方策を継続して実施し全体的な体力向上を目指してください。

○食育の推進

食事は健康な体を維持するために大切なだけでなく、食事は文化であり、マナーやコミュニケーションを学ぶ大切な機会と考えます。楽しくおいしく食事を進めるために、様々な工夫を行い、結果として残菜率も低減するなど成果を挙げていると評価します。

食育は子ども達の身体や心の成長につながる事が大切であり、食に対する教育は家庭や地域での取り組みも大変重要と考えます。引き続き給食だよりの活用やPTAと連携した親子料理教室の開催などを通じて地域や保護者への働きかけをお願いいたします。

◎ 環境教育の推進

環境教育は本校の特色の一つであり、地域や保護者が協力しながら芝生やグリーンカーテン、ビオトープ、稲作を維持管理してきました。児童の環境教育としての教材だけでなく、豊かな心や安らぎを与えてくれる財産です。様々な工夫を凝らしながら地域、保護者の参加を得て維持管理にあたられていることを高く評価します。

○グリーンカーテン

今年度も「緑を育む会」を中心に、グリーンカーテンの維持に取り組んできましたが、保護者への呼びかけや作業の時間帯を工夫することで、参加者を増やしていることは大変良いことと考えています。

○ビオトープ

自然あふれるビオトープを維持し、各学年が様々な授業で教材として活用していることは高く評価できます。ビオトープに関しても学校、保護者、地域が連携して維持管理に努めていくことが重要と考えています。

○果樹の育成

体験的な学習の場として積極的な活用ができていると考えます。収穫物の活用など今後の取り組みに期待します。

○水田の活用

水田を用いた稲作で代掻きや田植えの体験についても2年目を迎え、子ども達にも好評を得ていると思います。収穫も順調に行え、子ども達も喜びを感じることができたことは大きな成果と考えます。

◎ 小中連携の推進

○学力に関わる交流

研究授業の充実、授業力の強化に大変役立つと思います。また、小中学校の教員間の意識の違いを明確にし、中学校の授業を意識した小学校の授業の在り方を検討できたことは、小6から中1へと大きな変化を経験する子ども達にとっては進学への事前準備として良い機会となると思います。今後も連携の充実を図ってください。

○児童、生徒に関わる交流

中学生ボランティアの受け入れなど日ごろの交流が成果を生むと思います。今年度は、中学生ボランティアの活動として、中島根小学校にたくさんの六月中学校の生徒が来校して、読み聞かせや学習ボランティアをして学校間交流したことについては、とても良かったと思います。地域としても学校間の交流は重要性を増していると考えます。

○その他の交流

六月中、保木間小、中島根小の三校連携事業は、今年度は中島根小学校が幹事校でした。中島根小学校が幹事校として大山教育長様にご講演いただき、滞りなく終えたことに感謝いたします。

3 協議会からの意見、その他

近隣の小中学校、保育園との連携もより一層、充実していると思います。各学校で互いの授業を見合ったり、中島根保育園から保育士の派遣を中島根小学校で受け入れたりしたことで、教育の内容を充実することができていました。

将来に向かって、学校が何をしようとしているか、どのように取り組んでいくのか、しっかりと情報発信していくことが大切になります。協議会としても今まで以上に学校との意見交換、教職員との交流ができることを希望しています。

また、協議会に参加する方々を増やす声掛けを粘り強く継続していこうと思います。